

基地対策特別委員会

令和5年11月22日
午前10時00分開議
301会議室

○報告事項

1. 航空自衛隊小松基地へのF-35Aの2個目飛行隊配備について

その他

**航空自衛隊小松基地への
F-35Aの2個目飛行隊及びF-15能力向上型の
配備について**



**令和5年11月22日
防衛省**

小松基地への空自4個目F-35A飛行隊配備等について

- あらゆる事態に切れ目なく必要な対処を行い、有事における航空優勢を獲得・維持するためには、高い能力を有するF-35戦闘機を着実かつ速やかに整備していくことが何よりも重要です。
- これまで防衛省として、昨年末に策定された防衛力整備計画に定められた航空防衛力の質・量の更なる洗練・強化を行っていくため、航空自衛隊として4個目となる新たなF-35A飛行隊の配備先について、その配備計画を検討してまいりました。
- R9年度までのF-35A飛行隊の配備については昨年度までにご説明させて頂きご理解を頂いているところですが、今般、新たなF-35A飛行隊の配備先を検討した結果、小松基地は、
 - ・ 基地周辺の広大な訓練空域を活用可能であること、
 - ・ 飛行教導群との効果的な教育訓練が実施可能であること、
 - ・ 空自4個目の新たなF-35A飛行隊が他のF-35A飛行隊と同一基地に所在することで、効率的な要員養成や基地基盤活用が可能であることから、
小松基地に同基地2個目のF-35A飛行隊を配備することが最適と判断しました。
- 小松基地に所在する戦闘機の総数については、F-35A戦闘機の配備と並行して既存のF-15戦闘機を減少させていく計画であり、2個飛行隊分で推移する計画です。
- また、現在防衛省として改修事業を進めているF-15能力向上型については、小松基地に配備予定であった20機のうち、8機を飛行教導群のF-15戦闘機と置き換えることとし、残りの機体は他基地へ配備することとしました。

F-35A及びF-15能力向上型配備のスケジュール

- 小松基地へのF-35Aの配備については、飛行隊の既存のF-15と置き換えることにより実施していく計画です。F-35Aの配備は令和7年度から段階的に行う予定であり、令和7年度に4機、令和8年度に8機、令和9年度に8機を配備する予定です（以上、小松基地1個目飛行隊分）。
- 令和6年度概算要求において取得経費を計上している8機については、令和10年度に2個目のF-35A飛行隊分として配備する予定です。
- また、小松基地へのF-15能力向上型の配備については、飛行教導群の既存のF-15と置き換えることにより、令和9年度末までに8機の配備を予定しております。
- つまり、現在小松基地には、いずれもF-15を配備した2個飛行隊と飛行教導群がありますが、将来的には、2個飛行隊はF-15からF-35Aに更新し、飛行教導群はF-15からF-15能力向上型に更新していく計画です。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
F-35A 取得計画					●			
	【4機】				配備			
						●		
	【8機】					配備		
							●	
	【8機】ここまで小松基地1個目飛行隊分						配備	
								●
	【8機】ここから小松基地2個目飛行隊分							配備
F-15能力向上型 取得計画							●	
	【8機】						配備	

F-35A及びF-15能力向上型の配備に伴う体制（部隊・人員）

- 現在、小松基地にはF-15戦闘機2個飛行隊分とF-15戦闘機1個飛行教導群分を配備していますが、今後、F-35A戦闘機2個飛行隊をF-15戦闘機2個飛行隊と置き換えつつ、飛行教導群の既存のF-15戦闘機は同数を能力向上型とする計画であるため、飛行隊・配備機数は同水準です。
- F-35Aの配備・運用にあたって必要となる具体的な要員数は検討中ですが、機種更新に伴い、F-35Aの要員数が増加する一方、F-15の要員数は減少することになるため、小松基地における人員の総数にも大きな変化はないものと見込んでいます。
- 今後、小松基地の定員に一定程度の変動が生じる際は、各年度の概算要求のタイミング等を捉え、適切に情報を共有いたします。

